

世界分散投資戦略ファンド

愛称：グローバル・ビュー

運用報告書(全体版)

第7期（決算日2019年7月22日）

作成対象期間（2019年1月22日～2019年7月22日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | | |
|--------|---|---|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型） | |
| 信託期間 | 2016年5月13日から2026年1月21日までです。 | |
| 運用方針 | 野村ワールド・バランス・ストラテジー マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、内外の短期有価証券および上場投資信託証券等の現物有価証券を実質的な主要投資対象とし、世界各国の株価指数先物取引、債券先物取引等の有価証券先物取引等および為替予約取引等を実質的な主要取引対象とします。信託財産の成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。 | |
| 主な投資対象 | 世界分散投資戦略ファンド | マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、内外の短期有価証券および上場投資信託証券等の現物有価証券に直接投資する場合があります。 |
| | マザーファンド | 内外の短期有価証券および上場投資信託証券等の現物有価証券を主要投資対象とし、世界各国の株価指数先物取引、債券先物取引等の有価証券先物取引等および為替予約取引等を主要取引対象とします。 |
| 主な投資制限 | 世界分散投資戦略ファンド | 株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。 |
| | マザーファンド | 株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。 |
| 分配方針 | 毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、利子・配当等収益等の水準および基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。 | |

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104
〈受付時間〉 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 (分配落) | 標準価額 | | | 株式組入比率 | 株式先物比率 | 債券組入比率 | 債券先物比率 | 投資信託組入比率 | 純資産額 |
|----------------|---------------|------|------|----|--------|--------|--------|--------|----------|------|
| | | 税金 | 込み | 騰落 | | | | | | |
| | 円 | 円 | % | % | % | % | % | % | 百万円 | |
| 3期(2017年7月21日) | 10,594 | 10 | 3.1 | — | 23.2 | 46.2 | △5.2 | 15.9 | 2,586 | |
| 4期(2018年1月22日) | 10,915 | 10 | 3.1 | — | 28.0 | 67.8 | △29.5 | 17.6 | 3,844 | |
| 5期(2018年7月23日) | 10,683 | 10 | △2.0 | — | 17.8 | 47.2 | 5.2 | 13.7 | 4,092 | |
| 6期(2019年1月21日) | 10,461 | 10 | △2.0 | — | 26.4 | 54.3 | 4.5 | 13.8 | 4,702 | |
| 7期(2019年7月22日) | 11,367 | 10 | 8.8 | — | 27.4 | 47.2 | 3.1 | 15.3 | 4,133 | |

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率、債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*当ファンドは、絶対収益を目標としているため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年月日 | 基準価額 | 標準価額 | | | 株式組入比率 | 株式先物比率 | 債券組入比率 | 債券先物比率 | 投資信託組入比率 |
|------------|--------|------|----|------|--------|--------|--------|--------|----------|
| | | 騰落 | 騰落 | 騰落 | | | | | |
| (期首) | 円 | % | % | % | % | % | % | % | |
| 2019年1月21日 | 10,461 | — | — | 26.4 | 54.3 | 4.5 | 13.8 | | |
| 1月末 | 10,561 | 1.0 | — | 22.9 | 52.4 | 8.2 | 14.1 | | |
| 2月末 | 10,667 | 2.0 | — | 23.9 | 49.5 | 8.4 | 14.3 | | |
| 3月末 | 10,940 | 4.6 | — | 20.7 | 53.5 | △1.0 | 11.7 | | |
| 4月末 | 11,000 | 5.2 | — | 25.2 | 57.9 | 3.2 | 7.7 | | |
| 5月末 | 11,012 | 5.3 | — | 26.5 | 48.7 | 6.9 | 11.0 | | |
| 6月末 | 11,308 | 8.1 | — | 24.5 | 39.0 | 12.9 | 14.1 | | |
| (期末) | | | | | | | | | |
| 2019年7月22日 | 11,377 | 8.8 | — | 27.4 | 47.2 | 3.1 | 15.3 | | |

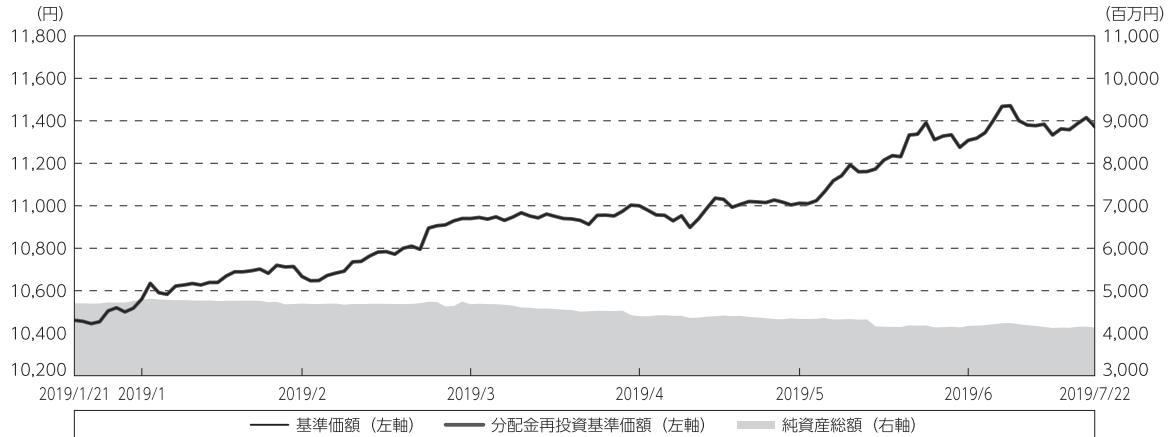
*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率、債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：10,461円

期 末：11,367円 (既払分配金(税込み)：10円)

騰落率： 8.8% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2019年1月21日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当期末時点の当ファンドの基準価額は11,367円(分配後)となりました。当期末に、分配金として10円をお支払いしましたので、分配金を加算すると8.8%の上昇となりました。ファンドの基準価額変動の主な要因を以下に記します。

(株 式 運 用／＋) 当期中、平均33%保有していた株式が大きく上昇したため、株式の保有効果が基準価額を3.2%程度押し上げました。また、他地域よりも大きく上昇した欧米地域の株式を保有したことによる地域・銘柄選択効果もプラス寄与となって、株式全体で3.6%の押し上げ効果となりました。

(債 券 運 用／＋) 当期中、大きく金利低下(債券価格は上昇)した債券市場に関して、当期中平均のデュレーション^(注)を6年程度としていた効果が3.3%程度基準価額を押し上げました。特に、金利低下幅が大きかった欧米地

域の債券デュレーションを長く保有していた効果や、欧州地域内での短期国債を売却して長期・超長期国債を保有していた長短金利差縮小戦略等の選択効果がプラスとなって、債券全体で5.3%基準価額を押し上げました。

(注) デュレーションとは金利がある一定の割合で変動した場合、債券の価格がどの程度変化するかを示す指標です。この値が大きいくほど金利変動に対する債券価格の変動率が大きくなります。

(通貨運用／＋) 当期中、上昇した日本円や米ドルを買い持ち、下落したユーロや英ポンド等の欧州通貨を売り持つ戦略がプラスに働いて0.3%程度基準価額を押し上げました。

(オルタナティブ／＋) 期間平均3.5%程度保有していたリートが上昇した効果が0.5%程度基準価額を押し上げました。

その他、信託報酬や売買手数料等は、基準価額を1.0%押し下げました。

○投資環境

当期間、代表的な株価指数が日本を除く多くの国で上昇する一方、日米独の長期国債利回りは低下（債券価格は上昇）しました。

当期中、典型的な景気先行指標である雇用統計に関しては、米国で堅調だった一方、PMI（購買担当者景気指数）や鉱工業生産等の景況指標には米国を含む多くの国で減速の傾向が示されたことから、各国の金融当局による2019年の経済成長見通しが下方修正されました。

一方、市場は上述した世界景気の減速や米中通商協議の動向に神経をとがらせながらも、世界的な金融緩和への期待を高めていきました。

債券市場では、3月に米国国債3ヵ月物と10年物の利回りが約12年ぶりに逆転するなど、長期金利主導の金利低下が生じた後、年内に米国で利下げが行われるという見通しを、市場が急速に反映したため、全般的な金利低下が続きました。また欧州では南欧国債の対独スプレッドが縮小しました。

株式市場では、2018年末の大幅下落の反動に加え、米中通商協議進展への期待、米国における予算案合意等のニュースを背景に上昇した後も、5月の一時的な下落を挟みながら、金融当局者による緩和的な政策運営を示唆する発言を背景に上昇基調を維持しました。

為替市場では、米国等と日本との金利差が縮小するとの見通しや、世界景気減速懸念等を背景に円が多くの通貨に対して上昇（円高）しました。また、この期間の金価格の上昇も顕著で、先物市場（シカゴ・マーカント取引所）では11.3%上昇しました。外貨においては、この期間に利下げを決定したオーストラリア・ドルやスウェーデン・クローナその他、政治問題のくすぶる英ポンドの下落が顕著でした。

○当ファンドのポートフォリオ

[世界分散投資戦略ファンド]

主要投資対象である[野村ワールド・バランス・ストラテジー マザーファンド] 受益証券を、当期を通じて高位に組み入れました。

[野村ワールド・バランス・ストラテジー マザーファンド]

・ 期中の主な動き

【株式】

世界的な景気減速から株式市場が軟調になることを想定して、30%から35%程度まで抑制した投資比率を維持しました。

地域配分に関しては、米国を中心とした投資比率を維持しました。その他地域では、日銀の出口戦略が進むことを想定して日本株式を最大でも1%程度と抑制した投資を行ないました。

業種配分においては、景気減速下においても比較的底値が固いとされる公益やヘルスケア等のディフェンシブセクターを多めにした配分を維持しました。当初期では投資していたIT（情報技術）や一般消費財・サービス等の景気と連動しやすいセクターは当期中にほぼ売却しています。

【債券】

1月末時点では、景気減速や金融緩和期待が高まることを想定して債券市場に強気の姿勢を取って、デュレーションを6.4年程度にしていました。その後、実際に金融緩和への期待が市場に反映される形で金利低下が実現したため、4月末時点ではデュレーションを4年程度まで短期化しました。その後、さらに金融緩和への市場の期待の反映が進むことを想定したことから、再びデュレーションを伸ばして当期末時点では7.7年と債券に強気の姿勢を取っています。

地域配分においては【株式】同様、日銀の出口戦略が進む場合に備えて日本国債のデュレーションをマイナス（空売りの状態）にしています。

【通貨配分】

当ファンドは、為替レート変動の影響を抑制するために為替ヘッジ後の円貨比率を100%程度にすることを基本としているものの、当期中においては日本円を100%超の買い持ちにしました。日銀の出口戦略に加えて、世界的な景気の後退によるリスクオフを警戒しているため、当期末においては、日本円を113%（外貨をマイナス13%）まで引き上げ、円高に備えています。

外貨の中の通貨選択に関しては、景気減速時において下落しやすいと考えるユーロを中心とした欧州通貨を売り持ちする一方、米ドルを買い持ちする戦略を取りました。

【オルタナティブ】

金利低下時に上昇しやすいリートを当期初から3月までは6%程度保有しました。その後、金利低下が止まると考えた4月以降はリートの保有を1%以下に減らしたものの、再び金利低下を見込んだ6月以降は平均4%弱保有しています。

また、景気減速時や米ドル安時に上昇しやすい金を6月から保有を始めて期末時点で2.5%程度としています。

以下は、野村ワールド・バランス・ストラテジー マザーファンドの組入比率です。

・実質株式組入比率 (%)

前期末

| | 現物 | 先物 | 合計 |
|-------|-----|------|------|
| 日本 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 北米先進国 | 7.9 | 14.1 | 21.9 |
| 欧州先進国 | 0.0 | 8.4 | 8.4 |
| その他 | 0.1 | 4.0 | 4.1 |
| 合計 | 8.0 | 26.5 | 34.4 |

当期末

| | 現物 | 先物 | 合計 |
|-------|-----|------|------|
| 日本 | 0.0 | 0.4 | 0.4 |
| 北米先進国 | 7.1 | 18.1 | 25.3 |
| 欧州先進国 | 0.0 | 7.7 | 7.7 |
| その他 | 0.8 | 0.6 | 1.3 |
| 合計 | 7.9 | 26.8 | 34.7 |

(注) 株式には投資信託証券を含みます。

・実質債券組入比率 (%)

前期末

| | 現物 | 先物 | 合計 |
|-------|------|-------|------|
| 日本 | 16.5 | -16.2 | 0.2 |
| 北米先進国 | 15.2 | 33.6 | 48.8 |
| 欧州先進国 | 22.8 | -14.7 | 8.1 |
| その他 | 0.7 | 1.9 | 2.6 |
| 合計 | 55.2 | 4.5 | 59.7 |

当期末

| | 現物 | 先物 | 合計 |
|-------|------|-------|------|
| 日本 | 4.1 | -3.7 | 0.4 |
| 北米先進国 | 19.3 | 32.0 | 51.2 |
| 欧州先進国 | 20.6 | -29.6 | -9.0 |
| その他 | 4.4 | 4.5 | 8.9 |
| 合計 | 48.4 | 3.1 | 51.5 |

(注) 債券には投資信託証券を含みます。

・その他資産組入比率 (%)

| | 前期末 | 当期末 |
|-----|-----|-----|
| リート | 5.1 | 3.7 |
| 商品 | 0.0 | 2.5 |
| 合計 | 5.1 | 6.2 |

(注) 商品・リートには投資信託証券を含みます。

・債券デュレーション (年)

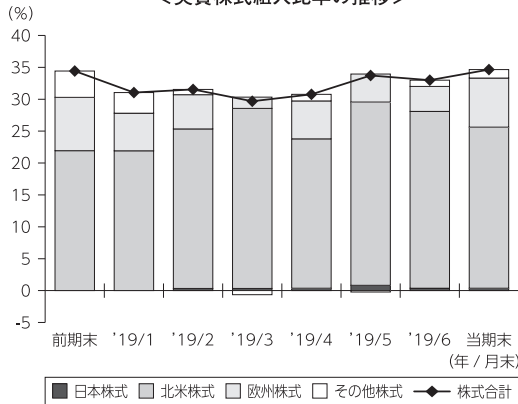
| | 前期末 | 当期末 |
|-------|------|------|
| 日本 | -0.9 | -0.2 |
| 北米先進国 | 3.7 | 4.5 |
| 欧州先進国 | 3.6 | 2.9 |
| その他 | 0.1 | 0.6 |
| 合計 | 6.4 | 7.7 |

(注) デュレーションとは金利がある一定の割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標です。この値が大きいほど金利変動に対する債券価格の変動率が大きくなります。

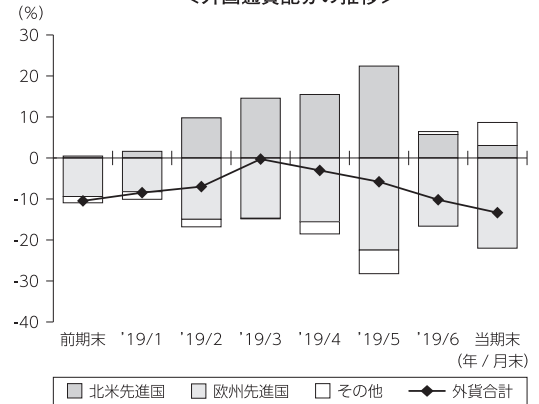
・通貨配分 (%)

| | 前期末 | 当期末 |
|-------|-------|-------|
| 日本 | 110.5 | 113.3 |
| 北米先進国 | 0.5 | 3.1 |
| 欧州先進国 | -9.4 | -22.0 |
| その他 | -1.6 | 5.5 |
| 合計 | 100.0 | 100.0 |

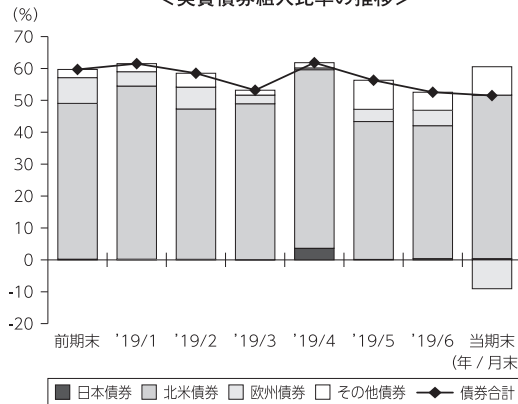
＜実質株式組入比率の推移＞



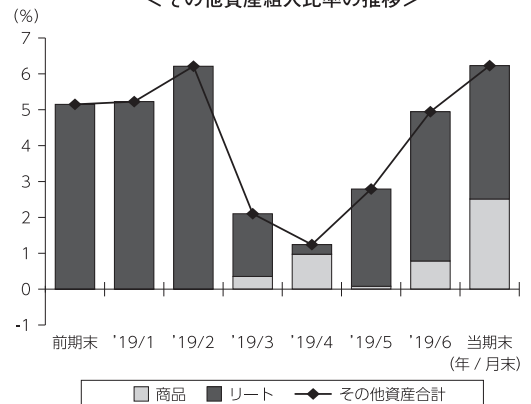
＜外国通貨配分の推移＞



＜実質債券組入比率の推移＞



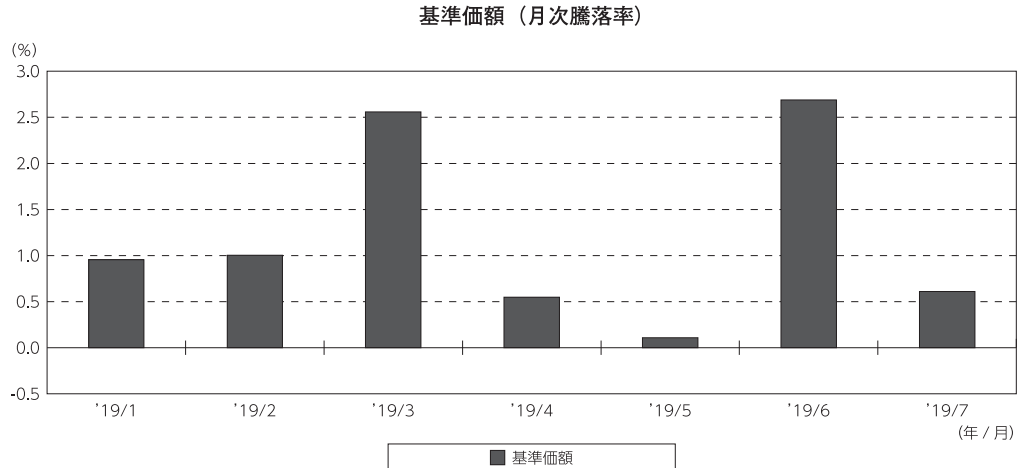
＜その他資産組入比率の推移＞



(注) 図は期首、期末 (または月末) の資産・地域別配分です。
 (注) 現物、先物 (または為替予約) を合わせた実質的な組入比率を表しています。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、絶対収益を目標としているため、ベンチマーク等はありません。
グラフは、期中の当ファンドの月次基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 2019年1月は期首から当月末まで、2019年7月は月初から期末までの期間で計算。

◎分配金

- (1) 当作成期の収益分配については、利子・配当等収入、信託報酬などの諸経費を勘案して1万口当たり10円の分配を行ないました。
- (2) 留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

| 項 目 | 第7期 |
|-----------|---------------------------|
| | 2019年1月22日～ 2019年7月22日 |
| 当期分配金 | 10 |
| (対基準価額比率) | 0.088% |
| 当期の収益 | 10 |
| 当期の収益以外 | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 1,367 |

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

[野村ワールド・バランス・ストラテジー マザーファンド]

●投資環境見通し

2018年初頭から徐々に減速を始めた世界景気は、2019年に入っても緩やかに減速を続けています。たとえばOECD（経済協力開発機構）が算出する景気先行指数は、2018年半ばに長期平均水準である100を下回った後も低下を続け、欧州の債務危機が取り沙汰された2012年を下回る水準まで切り下がっています。先進国の中でも先んじて景気が弱含んでいた欧州に未だ回復の兆しが見えないだけでなく、昨年来世界景気の減速を単独で下支えする役割を果たしていた米国景気でも、景気のパロメータとして引用されることの多いISM製造業指数において、良し悪しの分岐点とされる50ポイント近くにまで低下してきました。

一方、上述のように世界景気減速が進む環境にありながらも、世界の株式市場は2019年に入り上昇を続けています。これは、FRB（米連邦準備制度理事会）やECB（欧州中央銀行）を始めとする主要各国中央銀行が、景気減速や2018年末の株式市場の大幅な下落を受けて金融引き締め姿勢を改めたことが主たる背景と考えられ、緩和的金融政策の再開によって世界景気が近い将来再加速するという想定を、現在の株式市場は抱いているとみられます。しかし、より将来の景気や物価を映す鏡ともいえる長期金利が世界的に低下したままであることが暗示するように、上述した株式市場等に存在する世界景気楽観は、米国景気の一層の減速等をきっかけにして、修正される可能性が低くないと判断しています。

米中貿易交渉、英国のEU（欧州連合）離脱プロセス、イタリア等欧州の政治不安など、予断を許さないイベントにも後押しされた各国中央銀行の緩和的な行動と、米国まで含んだ世界的な景気減速という二つの力のせめぎ合いが今後半年程度の市場を支配するとみられ、前者に注目が集まる場合は今年前半のような穏やかな市場環境が、後者への注目が集まれば昨年終盤をほうふつとさせるリスクオフが生じるものと考えています。

●株式

2019年初からの金融緩和期待に下支えされた株価上昇が年後半も続く可能性があるものの、世界的な景気減速が止まらずに軟調に転じる可能性が高いことを想定するため、30%前後に抑制した投資比率を維持する方針です。業種配分も公益などの景気に左右されにくいとされるディフェンシブセクター中心の配分を考えています。米国が利上げから転換して仮に1,2回の利下げを行なった場合でも、2018年後半の2回の利上げを相殺する程度に過ぎず、それだけでは景気浮揚に至らないと判断しています。

仮に各国の中央銀行が本格的な景気浮揚を目的とした大幅な利下げ等の金融緩和を実施する場合には、株式比率を引き上げる方針です。その際には、金利低下の恩恵を受けやすいと考えられる業種や米ドルの下落の恩恵を受けやすい新興国を念頭に置いています。

●債券

「●株式」において記述した通り、景気減速に注目が集まることを想定していることに加えて、金融政策を左右する先進国の物価に関してもピークアウトの様相を呈し始めた国が多くあることに注目しています。そのため多くの国がしばらくの間、金融緩和を実施することになると判断しています。米国はこれまでの利上げから利下げへと転換する段階であるため、1回の利下げが行われた後に、追加利下げを市場が想定すると考えています。また他の地域においても、米国が金融緩和を行なっている間に、自国においても金融緩和をしなければ自国の通貨高が景気を減速させかねないことを、各国中央銀行は意識すると考えられます。そのため、債券への強気姿勢を維持する見込みです。

地域配分では、利下げが金融機関の収益を圧迫させるなどの副作用の議論もある日本に関しては投資を抑制しながら、外国債券への強気な投資を維持する方針です。年限構成に関しては、金融政策との感応度が高い短中期債を中心にポートフォリオを構築します。

●為替

多くの先進国が金融緩和を進めることによって相対的に上昇が見込まれる新興国通貨に関して、緩やかに買い持ちを増やす方針です。また、先進国通貨では、景気減速が顕在化してリスクオフが進む局面において上昇が見込まれる日本円やスイスフラン等のリスク回避通貨を買い持ち、反対に下落が見込まれるユーロなどの欧州通貨を売り持つ方針を維持する見込みです。

●オルタナティブ

低調な世界景気と、米国が利下げした場合に起こると考えられる米ドルの下落を背景に上昇が期待できる金（ETF）の保有を増やす方針です。一方、原油や工業用金属は、不景気のマイナス材料と、米ドルの下落というプラス材料にはさまれてこう着状態になると考えるため、景気の底打ちを見通せるまでは控えめな投資を心がけます。

リートに関しては、債券価格との関連が深く一種の金利敏感株式ととらえられるため、当期末時点程度の投資比率を維持する方針です。

[世界分散投資戦略ファンド]

主要投資対象である〔野村ワールド・バランス・ストラテジー マザーファンド〕受益証券の組み入れを高位に維持することによって、基準価額の向上に努めます。

引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年1月22日～2019年7月22日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|-----------------------|----------|------------|--|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信 託 報 酬 | 円 109 | % 0.996 | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| （ 投 信 会 社 ） | (53) | (0.485) | ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等 |
| （ 販 売 会 社 ） | (53) | (0.485) | 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等 |
| （ 受 託 会 社 ） | (3) | (0.027) | ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等 |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料 | 3 | 0.029 | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| （ 投 資 信 託 証 券 ） | (1) | (0.008) | |
| （ 先 物 ・ オ プ シ ョ ン ） | (2) | (0.021) | |
| (c) 有 価 証 券 取 引 税 | 0 | 0.000 | (c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| （ 投 資 信 託 証 券 ） | (0) | (0.000) | |
| (d) そ の 他 費 用 | 2 | 0.021 | (d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| （ 保 管 費 用 ） | (1) | (0.010) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| （ 監 査 費 用 ） | (0) | (0.002) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| （ そ の 他 ） | (1) | (0.009) | 信託事務の処理に要するその他の諸費用 |
| 合 計 | 114 | 1.046 | |
| 期中の平均基準価額は、10,914円です。 | | | |

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

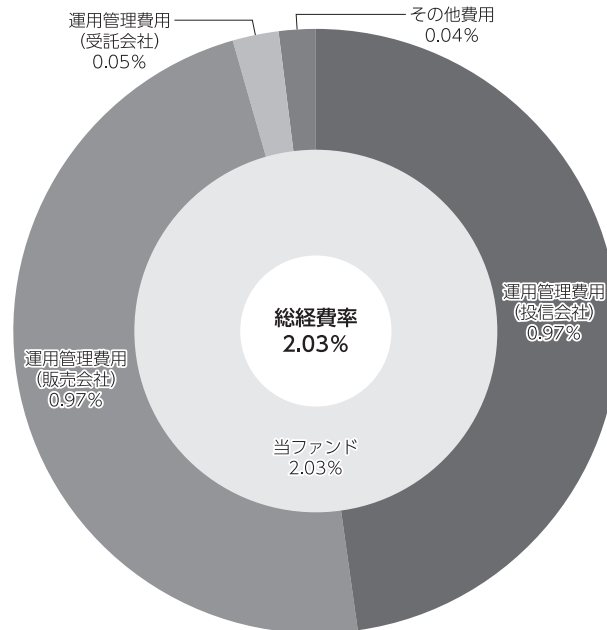
* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.03%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年1月22日～2019年7月22日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

| 銘 柄 | 設 定 | | 解 約 | |
|----------------------------|---------------|---------------|---------------|-----------------|
| | 口 数 | 金 額 | 口 数 | 金 額 |
| 野村ワールド・バランス・ストラテジー マザーファンド | 千口 198,124 | 千円 252,800 | 千口 967,573 | 千円 1,244,700 |

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2019年1月22日～2019年7月22日)

利害関係人との取引状況

<世界分散投資戦略ファンド>

該当事項はございません。

<野村ワールド・バランス・ストラテジー マザーファンド>

| 区 分 | 買付額等 A | うち利害関係人 との取引状況B | | 売付額等 C | うち利害関係人 との取引状況D | |
|--------|--------------|--------------------|---------------|--------------|--------------------|---------------|
| | | | $\frac{B}{A}$ | | | $\frac{D}{C}$ |
| 株式先物取引 | 百万円 4,909 | 百万円 89 | % 1.8 | 百万円 5,127 | 百万円 73 | % 1.4 |
| 債券先物取引 | 13,686 | 2,299 | 16.8 | 13,886 | 1,684 | 12.1 |
| 為替先物取引 | 8,219 | 54 | 0.7 | 8,280 | — | — |
| 為替直物取引 | 1,765 | — | — | 2,189 | 72 | 3.3 |

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

| 項 目 | 当 期 |
|------------------|---------|
| 売買委託手数料総額 (A) | 1,314千円 |
| うち利害関係人への支払額 (B) | 32千円 |
| (B) / (A) | 2.5% |

*売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社、野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2019年7月22日現在)

親投資信託残高

| 銘 柄 | 期首(前期末) | 当 期 末 | |
|----------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| | 口 数 | 口 数 | 評 価 額 |
| 野村ワールド・バランス・ストラテジー マザーファンド | 千口 3,847,731 | 千口 3,078,282 | 千円 4,125,514 |

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2019年7月22日現在)

| 項 目 | 当 期 末 | |
|----------------------------|-----------------|-----------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| 野村ワールド・バランス・ストラテジー マザーファンド | 千円 4,125,514 | % 98.4 |
| コール・ローン等、その他 | 68,328 | 1.6 |
| 投資信託財産総額 | 4,193,842 | 100.0 |

*金額の単位未満は切り捨て。

*野村ワールド・バランス・ストラテジー マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産(2,666,326千円)の投資信託財産総額(4,201,161千円)に対する比率は63.5%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=107.98円、1カナダドル=82.63円、1英ポンド=135.01円、1スイスフラン=109.79円、1スウェーデンクローナ=11.50円、1ノルウェークローネ=12.59円、1ユーロ=121.07円、1ズロチ=28.47円、1香港ドル=13.84円、1シンガポールドル=79.33円、1豪ドル=76.01円、1メキシコペソ=5.68円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年7月22日現在)

| 項目 | 当期末 |
|---------------------------------|----------------|
| | 円 |
| (A) 資産 | 4,193,842,913 |
| コール・ローン等 | 65,628,708 |
| 野村ワールド・バランス・ストラテジー マザーファンド(評価額) | 4,125,514,205 |
| 未収入金 | 2,700,000 |
| (B) 負債 | 60,059,963 |
| 未払収益分配金 | 3,636,549 |
| 未払解約金 | 11,585,922 |
| 未払信託報酬 | 44,764,852 |
| 未払利息 | 112 |
| その他未払費用 | 72,528 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 4,133,782,950 |
| 元本 | 3,636,549,616 |
| 次期繰越損益金 | 497,233,334 |
| (D) 受益権総口数 | 3,636,549,616口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 11,367円 |

(注) 期首元本額は4,495,495,505円、期中追加設定元本額は559,404,342円、期中一部解約元本額は1,418,350,231円、1万口当たり純資産額は1.1367円です。

○損益の状況 (2019年1月22日～2019年7月22日)

| 項目 | 当期 |
|------------------|----------------|
| | 円 |
| (A) 配当等収益 | △ 10,894 |
| 支払利息 | △ 10,894 |
| (B) 有価証券売買損益 | 355,123,203 |
| 売買益 | 424,044,619 |
| 売買損 | △ 68,921,416 |
| (C) 信託報酬等 | △ 44,837,380 |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | 310,274,929 |
| (E) 前期繰越損益金 | △ 22,645,861 |
| (F) 追加信託差損益金 | 213,240,815 |
| (配当等相当額) | (185,577,076) |
| (売買損益相当額) | (27,663,739) |
| (G) 計(D+E+F) | 500,869,883 |
| (H) 収益分配金 | △ 3,636,549 |
| 次期繰越損益金(G+H) | 497,233,334 |
| 追加信託差損益金 | 213,240,815 |
| (配当等相当額) | (186,061,055) |
| (売買損益相当額) | (27,179,760) |
| 分配準備積立金 | 283,992,519 |

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2019年1月22日～2019年7月22日)は以下の通りです。

| 項目 | 当期 |
|------------------------------|---------------------------|
| | 2019年1月22日～ 2019年7月22日 |
| a. 配当等収益(経費控除後) | 13,743,749円 |
| b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後) | 190,624,073円 |
| c. 信託約款に定める収益調整金 | 213,240,815円 |
| d. 信託約款に定める分配準備積立金 | 83,261,246円 |
| e. 分配対象収益(a+b+c+d) | 500,869,883円 |
| f. 分配対象収益(1万口当たり) | 1,377円 |
| g. 分配金 | 3,636,549円 |
| h. 分配金(1万口当たり) | 10円 |

○分配金のお知らせ

| | |
|-----------------|-----|
| 1 万口当たり分配金（税込み） | 10円 |
|-----------------|-----|

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2019年7月22日現在）

<野村ワールド・バランス・ストラテジー マザーファンド>

下記は、野村ワールド・バランス・ストラテジー マザーファンド全体(3,078,282千口)の内容です。

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

| 区 分 | 当 期 | | | 末 | | | |
|------|---------|---------|---------|--------------------|-----------|------|------|
| | 額 面 金 額 | 評 価 額 | 組 入 比 率 | うちBB格以下 組 入 比 率 | 残存期間別組入比率 | | |
| | | | | | 5年以上 | 2年以上 | 2年未満 |
| | 千円 | 千円 | % | % | % | % | % |
| 国債証券 | 170,000 | 170,367 | 4.1 | — | — | — | 4.1 |
| 合 計 | 170,000 | 170,367 | 4.1 | — | — | — | 4.1 |

*組入比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

*金額の単位未満は切り捨て。

*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

| 銘 柄 | 当 期 | | | 末 | |
|------------------|-----|---------|---------|-----------|--|
| | 利 率 | 額 面 金 額 | 評 価 額 | 償 還 年 月 日 | |
| 国債証券 | % | 千円 | 千円 | | |
| 国庫債券 利付（2年）第388回 | 0.1 | 170,000 | 170,367 | 2020/5/15 | |
| 合 計 | | 170,000 | 170,367 | | |

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

| 区 分 | 当 期 末 | | | | | | | |
|-------|---------------------|---------------------|---------------|-----------|-----------------|-----------|-----------|--------|
| | 額面金額 | 評 価 額 | | 組入比率 | うちBB格以下 組入比率 | 残存期間別組入比率 | | |
| | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | | | 5年以上 | 2年以上 | 2年未満 |
| アメリカ | 千米ドル 6,900 | 千米ドル 7,342 | 千円 792,797 | % 19.2 | % — | % 2.0 | % 17.3 | % — |
| ノルウェー | 千ノルウェークローネ 8,800 | 千ノルウェークローネ 9,051 | 113,956 | 2.8 | — | 2.8 | — | — |
| ユーロ | 千ユーロ | 千ユーロ | | | | | | |
| フランス | 2,800 | 3,292 | 398,584 | 9.7 | — | 8.5 | 1.2 | — |
| スペイン | 2,300 | 2,774 | 335,943 | 8.1 | — | 8.1 | — | — |
| ポーランド | 千ズロチ 3,200 | 千ズロチ 3,353 | 95,479 | 2.3 | — | 2.3 | — | — |
| メキシコ | 千メキシコペソ 7,700 | 千メキシコペソ 7,611 | 43,231 | 1.0 | — | 1.0 | — | — |
| 合 計 | — | — | 1,779,994 | 43.1 | — | 24.7 | 18.5 | — |

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 組入比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

| 銘柄 | 銘柄 | 当 期 末 | | | | | | |
|-------|------|-------------------------|--------------------------|-----------|------------------------|---------|-----------|-----------|
| | | 利 率 | 額面金額 | 評 価 額 | | 償還年月日 | | |
| | | | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | | | |
| アメリカ | 国債証券 | TSY INFL IX N/B I/L | 0.625 | 4,400 | 4,582 | 494,803 | 2023/4/15 | |
| | | TSY INFL IX N/B I/L | 0.625 | 1,800 | 2,011 | 217,175 | 2024/1/15 | |
| | | TSY INFL IX N/B I/L | 0.875 | 700 | 748 | 80,818 | 2029/1/15 | |
| | | 小 計 | | | | 792,797 | | |
| ノルウェー | 国債証券 | NORWEGIAN GOVERNMENT | 1.75 | 2,000 | 2,049 | 25,801 | 2027/2/17 | |
| | | NORWEGIAN GOVERNMENT | 1.75 | 6,800 | 7,001 | 88,154 | 2029/9/6 | |
| | | 小 計 | | | | 113,956 | | |
| ユーロ | フランス | FRANCE (GOVT OF) | — | 400 | 410 | 49,733 | 2024/3/25 | |
| | | FRANCE (GOVT OF) | 1.25 | 200 | 227 | 27,562 | 2034/5/25 | |
| | | FRANCE (GOVT OF) | 1.25 | 500 | 566 | 68,549 | 2036/5/25 | |
| | | FRANCE (GOVT OF) | 1.75 | 1,700 | 2,087 | 252,738 | 2039/6/25 | |
| | スペイン | 国債証券 | BONOS Y OBLIG DEL ESTADO | 2.35 | 1,900 | 2,314 | 280,272 | 2033/7/30 |
| | | | BONOS Y OBLIG DEL ESTADO | 1.85 | 400 | 459 | 55,671 | 2035/7/30 |
| | | | 小 計 | | | | 734,528 | |
| | | | ポーランド | 国債証券 | POLAND GOVERNMENT BOND | 2.75 | 3,200 | 3,353 |
| 小 計 | | | | 95,479 | | | | |
| メキシコ | 国債証券 | MEX BONOS DESARR FIX RT | 5.75 | 4,000 | 3,657 | 20,772 | 2026/3/5 | |
| | | MEX BONOS DESARR FIX RT | 8.5 | 3,700 | 3,953 | 22,458 | 2029/5/31 | |
| | | 小 計 | | | | 43,231 | | |
| 合 計 | | | | 1,779,994 | | | | |

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

国内投資信託証券

| 銘柄 | 銘柄 | 期首(前期末) | 当 期 末 | | |
|----------------------------|---------------|---------|--------|----------|-----|
| | | 口 数 | 口 数 | 評 価 額 | 比 率 |
| NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信 | | 口 | 口 | 千円 | % |
| | | 5,100 | 40,100 | 86,054 | 2.1 |
| 合 計 | 口 数 ・ 金 額 | 5,100 | 40,100 | 86,054 | |
| | 銘 柄 数 < 比 率 > | 1 | 1 | < 2.1% > | |

* 比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の比率。

* 評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

外国投資信託証券

| 銘柄 | 期首(前期末) | | 当 期 末 | | | |
|--|--------------|--------|---------|---------|---------|--|
| | 口 数 | 口 数 | 評 価 額 | | 比 率 | |
| | | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | | |
| (アメリカ) | 口 | 口 | 千米ドル | 千円 | % | |
| ALERTIAN MLP ETF | 12,200 | 12,200 | 121 | 13,147 | 0.3 | |
| ISHARES GOLD TRUST | 100 | 70,100 | 956 | 103,322 | 2.5 | |
| ISHARES MSCI EMERGING MARKET ASIA | 100 | 100 | 6 | 713 | 0.0 | |
| ISHARES MSCI TURKEY ETF | 100 | 100 | 2 | 277 | 0.0 | |
| ISHARES LATIN AMERICA 40 ETF | 100 | 7,700 | 264 | 28,576 | 0.7 | |
| ISHARES US REAL ESTATE ETF | 16,100 | 4,400 | 386 | 41,771 | 1.0 | |
| ISHARES JP MORGAN USD EM BOND ETF | 1,600 | 1,600 | 181 | 19,581 | 0.5 | |
| ISHARES MBS ETF | 100 | 100 | 10 | 1,163 | 0.0 | |
| ISHARES BROAD USD INVESTMENT ETF | 200 | 200 | 11 | 1,227 | 0.0 | |
| ISHARES S&P GSCI COMMODITY I | — | 100 | 1 | 167 | 0.0 | |
| SPDR DJ GLOBAL REAL ESTATE E | 17,700 | 4,700 | 235 | 25,461 | 0.6 | |
| UNITED STATES OIL FUND LP | — | 100 | 1 | 126 | 0.0 | |
| VANECK VECTORS RUSSIA ETF | 1,000 | 1,000 | 23 | 2,554 | 0.1 | |
| VANECK VECTORS J.P. MORGAN EM LOCAL CURR | 3,550 | 6,350 | 222 | 24,046 | 0.6 | |
| VANGUARD CONSUMER DISCRETIONARY ETF | 1,100 | 300 | 55 | 5,948 | 0.1 | |
| VANGUARD CONSUMER STAPLE ETF | 100 | 100 | 15 | 1,656 | 0.0 | |
| VANGUARD ENERGY ETF | 100 | 700 | 58 | 6,287 | 0.2 | |
| VANGUARD FINANCIALS ETF | 100 | 100 | 6 | 754 | 0.0 | |
| VANGUARD HEALTH CARE ETF | 3,100 | 3,600 | 620 | 66,985 | 1.6 | |
| VANGUARD INDUSTRIALS ETF | 100 | 100 | 14 | 1,574 | 0.0 | |
| VANGUARD INFORMATION TECHNOLOGY ETF | 1,800 | 100 | 21 | 2,350 | 0.1 | |
| VANGUARD MATERIALS ETF | 100 | 100 | 12 | 1,379 | 0.0 | |
| VANGUARD UTILITIES ETF | 14,600 | 13,100 | 1,758 | 189,830 | 4.6 | |
| VANGUARD COMMUNICATION SERVICE ETF | 5,500 | 400 | 35 | 3,797 | 0.1 | |
| 小 計 | 口 数 ・ 金 額 | 79,450 | 127,350 | 5,025 | 542,701 | |
| | 銘柄 数 < 比 率 > | 22 | 24 | — | <13.2%> | |
| (ユーロ…アイルランド) | | | | 千ユーロ | | |
| ISHARES EUR CORP BOND LARGE CAP UCITS ET | 100 | 100 | 14 | 1,698 | 0.0 | |
| ユ ー ロ 計 | 口 数 ・ 金 額 | 100 | 100 | 14 | 1,698 | |
| | 銘柄 数 < 比 率 > | 1 | 1 | — | <0.0%> | |
| 合 計 | 口 数 ・ 金 額 | 79,550 | 127,450 | — | 544,399 | |
| | 銘柄 数 < 比 率 > | 23 | 25 | — | <13.2%> | |

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の比率。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

先物取引の銘柄別期末残高

| 銘柄別 | | | 当 期 末 | |
|---------|--------|----------------|-----------|----------|
| | | | 買 建 額 | 売 建 額 |
| 国内 | 株式先物取引 | T O P I X | 百万円 15 | 百万円 — |
| | 債券先物取引 | 1 0 年国債標準物 | — | 153 |
| 外 | 株式先物取引 | AEX | 96 | — |
| | | CAC40 | 47 | — |
| | | CAN60 | 48 | — |
| | | DAX30 | 74 | — |
| | | DJIAVMN | 102 | — |
| | | EURO50 | 50 | — |
| | | FT100 | — | 50 |
| | | IBEX | 66 | — |
| | | MSCIN | 22 | — |
| | | NASDAQMN | 16 | — |
| | | OBX | — | 32 |
| | | SPEMINI | 626 | — |
| | | SWISSMKT | 65 | — |
| CBOEVIX | — | 18 | | |
| 国 | 債券先物取引 | TNOTE (2YEAR) | 115 | — |
| | | TNOTE (5YEAR) | 38 | — |
| | | AU10YR | 185 | — |
| | | BOBL | — | 472 |
| | | BTS | — | 67 |
| | | BUXL | 98 | — |
| | | CANADA | 35 | — |
| | | GILTS | 159 | — |
| | | OAT10Y | 120 | — |
| | | SCHATZ | — | 1,060 |
| | | TBOND | 451 | — |
| | | TNOTE (10YEAR) | 316 | — |
| T-ULTRA | 361 | — | | |

* 単位未満は切り捨て。

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

オプションの銘柄別期末残高

| 銘柄別 | | | コール・ プット別 | 当 期 末 | |
|-----|-----------|---------|--------------|-----------------|----------|
| | | | | 買 建 額 | 売 建 額 |
| 外国 | 株式オプション取引 | SP2800P | プット | 百万円 0.665156 | 百万円 — |

*単位未満は切り捨て。ただし、金額が単位未満の場合は小数で記載。

*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

野村ワールド・バランス・ストラテジー マザーファンド

運用報告書

第4期（決算日2019年1月21日）

作成対象期間（2018年1月23日～2019年1月21日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|---|
| 運用方針 | 内外の短期有価証券および上場投資信託証券等の現物有価証券を主要投資対象とし、世界各国の株価指数先物取引、債券先物取引等の有価証券先物取引等および為替予約取引等を主要取引対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。 |
| 主な投資対象 | 内外の短期有価証券および上場投資信託証券等の現物有価証券を主要投資対象とし、世界各国の株価指数先物取引、債券先物取引等の有価証券先物取引等および為替予約取引等を主要取引対象とします。 |
| 主な投資制限 | 株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。 |

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | 騰落率 | 株式組入比率 | 株式先物比率 | 債券組入比率 | 債券先物比率 | 投資信託組入比率 | 純資産総額 |
|---------------------|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|----------|------------|
| | | | | | | | | |
| (設定日) 2014年4月22日 | 円 10,000 | % - | % - | % - | % - | % - | % - | 百万円 499 |
| 1期(2016年1月21日) | 10,096 | 1.0 | - | 33.1 | 47.7 | △ 8.9 | 25.3 | 496 |
| 2期(2017年1月23日) | 11,486 | 13.8 | - | 31.6 | 35.5 | △26.3 | 20.9 | 1,905 |
| 3期(2018年1月22日) | 12,454 | 8.4 | - | 28.1 | 67.9 | △29.6 | 17.6 | 3,837 |
| 4期(2019年1月21日) | 12,198 | △ 2.1 | - | 26.5 | 54.4 | 4.5 | 13.9 | 4,693 |

*株式先物比率、債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドは、絶対収益を目標としているため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

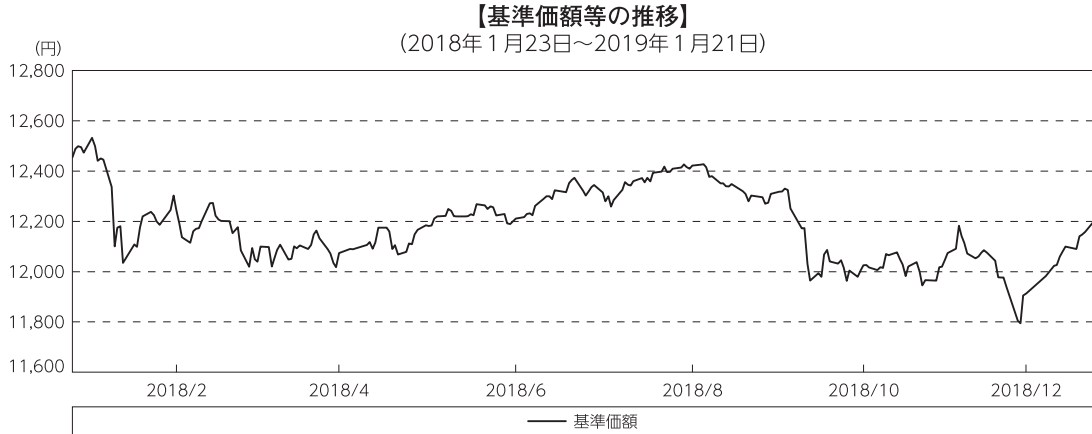
| 年月日 | 基準価額 | 騰落率 | 株式組入比率 | 株式先物比率 | 債券組入比率 | 債券先物比率 | 投資信託組入比率 |
|--------------------|-------------|-----------|--------|-----------|-----------|------------|-----------|
| | | | | | | | |
| (期首) 2018年1月22日 | 円 12,454 | % - | % - | % 28.1 | % 67.9 | % △29.6 | % 17.6 |
| 1月末 | 12,441 | △0.1 | - | 26.3 | 70.8 | △31.5 | 17.6 |
| 2月末 | 12,247 | △1.7 | - | 26.1 | 72.5 | △29.0 | 14.5 |
| 3月末 | 12,100 | △2.8 | - | 26.7 | 71.1 | △25.5 | 13.3 |
| 4月末 | 12,074 | △3.1 | - | 19.1 | 63.4 | △ 3.5 | 14.0 |
| 5月末 | 12,211 | △2.0 | - | 18.5 | 40.3 | 19.5 | 16.6 |
| 6月末 | 12,211 | △2.0 | - | 15.4 | 44.3 | 17.6 | 14.8 |
| 7月末 | 12,280 | △1.4 | - | 16.7 | 58.9 | 2.9 | 13.7 |
| 8月末 | 12,422 | △0.3 | - | 16.1 | 62.7 | △11.8 | 14.5 |
| 9月末 | 12,309 | △1.2 | - | 19.1 | 66.8 | △12.6 | 15.3 |
| 10月末 | 12,025 | △3.4 | - | 22.4 | 73.1 | △20.2 | 12.6 |
| 11月末 | 12,074 | △3.1 | - | 26.9 | 51.9 | △ 1.3 | 12.5 |
| 12月末 | 11,913 | △4.3 | - | 21.9 | 56.0 | 2.6 | 14.2 |
| (期末) 2019年1月21日 | 円 12,198 | % △2.1 | % - | % 26.5 | % 54.4 | % 4.5 | % 13.9 |

*騰落率は期首比です。

*株式先物比率、債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

<前半（2018年1月23日～2018年7月23日）>

当ファンドの基準価額は1.1%の下落となりました。ファンドの基準価額変動の主な要因を以下に記します。

(株式運用／ー) この期間、株式市場は、欧米先進国の株式市場は上昇したものの、アジア地域や新興国の株式市場が大きく下落したため、株式市場全体のリターンは、若干のマイナスとなりました。当ファンドは、平均32%程度の買い持ちをした配分戦略が0.4%程度マイナスに影響しました。さらに、期間中大きく下落したアジア地域や新興国株式を買い持つ等の地域選択効果や、新興国の中でも大きく下落したロシア株式やトルコ株式を買い持ちした銘柄選択効果がマイナスとなったため、株式全体で1.7%程度基準価額を押し下げました。

(債券運用／＋) この期間、債券市場は、ドイツ国債や英国債の利回りは低下（価格は上昇）したものの、米国債などの利回りは上昇（価格は下落）したため、債券市場全体の収益率は、若干のマイナスとなりました。当ファンドは、特に債券利回りが上昇した2018年1月から3月にかけては債券デュレーション^(注)を平均2年程度に短期化したリスクを抑えた運用をしたことによって、デュレーション戦略による損失はほぼゼロでした。また、債券利回りが低下した欧州地域の債券をその他地域の債券よりも多めの投資比率にした地域選択効果や、米国において普通国債の代替として物価連動国債に投資をしたことによる選択効果がプラスとなったことによって、債券全体で1.1%基準価額を押し上げました。

(注) デュレーションとは金利がある一定の割合で変動した場合、債券の価格がどの程度変化するかを示す指標です。この値が大きいほど金利変動に対する債券価格の変動率が大きくなります。

(通貨運用／－) 期間中、日本円や米ドル等に対して下落したオーストラリアドル、カナダドルやスウェーデンクローナを買い持つ戦略等が基準価額に対してマイナスに影響して、通貨戦略は基準価額を0.4%程度押し下げました。

(オルタナティブ／－) 平均で1%程度保有していたリートは基準価額を0.1%弱押し上げました。
一方、金を中心にした商品投資はマイナスに影響しました。オルタナティブ戦略は、基準価額を0.1%強押し下げました。

<後半(2018年7月24日～2019年1月21日)>

当ファンドの基準価額は1.0%の下落となりました。ファンドの基準価額変動の主な要因を以下に記します。

(株式運用／－) この期間、30%程度保有していた株式が大きく下落したため、株式全体で基準価額を2%程度押し下げました。期間前半は金融セクターを中心に、期間後半は公益セクターを中心にした業種配分戦略は、12月末時点まではプラス効果となっていたものの、2019年1月の株価反発相場において、そのプラス効果を失ってほぼゼロとなりました。

(債券運用／＋) 先進国債券市場は、10月まで全体的に利回りが上昇した後、利回りは低下しました。この期間、デュレーションを平均7年程度としていた効果は若干のプラス寄与となりました。また、欧州地域内での短期国債を売却して長期・超長期国債を保有していた長短金利差縮小戦略や債券価格の騰落率が他の市場を上回ったイタリア国債を保有していたこと等の選択効果がプラスとなって、債券全体で0.5%基準価額を押し上げました。

(通貨運用／＋) 11月まで主に米ドルを他通貨に対して買い持ちした効果や、12月以降主に日本円を欧州通貨に対して買い持ちした効果がプラスとなって、0.4%基準価額を押し上げました。

(オルタナティブ／＋) 期間平均で3%程度保有していたリートと、9月から10月にかけて保有していた原油がそれぞれ若干のプラス寄与となって、0.1%基準価額を押し上げました。

○当ファンドのポートフォリオ

<前半(2018年1月23日～2018年7月23日)>

【株式】

前期末に40%弱だった投資比率を、欧州先進国や新興国の株式の売却によって、2018年7月23日には30%弱と10%程度減らしました。

前期末時点では、強気であった景気に対する見通しを、3月から4月にかけて弱気に判断変更したことが主な理由です。前期末は、順調な景気拡大を続ける兆しがある国が多かったのに対して、徐々に景気拡大ピッチのピークを過ぎた可能性が高いと判断する国が先進国を中心に多くなってきたことに加えて、回復期に位置する新興国が停滞したまま加速の兆しが見られないという組み合わせから、株式の上値が重くなる可能性が高いと考えました。

また、主要中央銀行が行なっていた量的金融緩和の資金によって大きく上昇してきたと考えられる新興国地域などの株式は、その資金が徐々に引き上げられることによって下落する可能性が高いと判断したため、その投資を減らしました。7月23日時点では、新興国株式についてはショートポジションを構築して、それらの株式が下落することに備えています。

【債券】

前期末に2.2年としていたデュレーションを、欧米の国債中心の長期化によって、7月23日には6.4年と前期末に比べて4.2年延ばしました。

前期末時点では、①景気拡大、②インフレ率加速懸念、といった債券が売られやすい環境を想定していたため、金利上昇に備えたポートフォリオにしていました。しかし想定通りに債券利回りが大きく上昇した後は、①景気拡大から景気減速に判断を下方修正したことに加えて、②インフレ率加速懸念を中立化したため、債券のデュレーションを延ばしました。

債券セクターに関しては、前期末時点はインフレ率の加速を想定していた米国に関しては、普通国債よりも物価連動国債への投資を積極的に行なっていたものの、インフレ率の見方を中立化したことによって物価連動国債への投資を減らしました。

【通貨配分】

為替ヘッジ後の円貨比率を100%程度にすることによって、日本円の変動に左右されにくい運用を行ないました。

外貨の中の通貨選択に関しては、米国の引き締めの金融政策を背景とする米ドル上昇を想定して、これを買いつつ戦略を取りました。一方、EU（欧州連合）離脱交渉の難航が経済にとって重石となると考えた英国ポンドは売り持ちとしました。

【オルタナティブ】

金利上昇を想定していた前期末は、これを悪材料としやすいリートの投資を控えていたものの、そのウェイトを徐々に増やして7月23日時点では2.6%組み入れています。

商品投資は前期末に金や原油へ合計2%程度投資をしていたものの、7月23日時点ではゼロとしています。

<後半（2018年7月24日～2019年1月21日）>

【株式】

7月23日から30%程度まで抑制した投資比率を維持しました。

地域配分に関しては、米国を中心とした投資比率を維持しました。その他地域では、日銀の出口戦略が進むことを想定して9月下旬以降日本株式を非保有としています。また、世界全体の流動性が縮小することによって投資マネーが引き上げられると見られる新興国株式を一時5%弱の売り持ちとしていたものの、2019年1月に欧米の中央銀行が金融緩和に前向きとなり、流動性が回復することを想定して当期末時点では、1%の買い持ちとしています。

業種配分においては、金利上昇を警戒していた期間前半には、金利上昇時に騰落率が他セクターを上回りやすい金融セクターを多めの配分にしました。一方、後半においては景気後退を警戒したため、金融セクターや素材セクターから通信セクターや公益セクターへの入れ替えを行ないました。

【債券】

デュレーションを期間中6年から8年程度に保つことによって、債券に対して強気なポジションを維持しました。

7月23日と当期末の債券全体のデュレーションは6.4年と変化がないものの、地域配分は日本国債から米国債へデュレーションを移しています。7月24日時点ではFRB（米連邦準備制度理事会）がタカ派的に利上げを続けることを想定していたものの、金融市場の混乱等によって、これまで通りの金融政策運営は難しく政策転換する可能性が生じたためです。その一方で、金融緩和を続けてきた日本に関してはその限界が近く、出口戦略を進める必要が生じることを想定して、日本国債の金利上昇に備えました。

【通貨配分】

当ファンドは、為替ヘッジ後の円貨比率を100%程度にすることを基本としているものの、11月末以降は外貨に対して日本円を100%超の買い持ちにしています。日銀の出口戦略に加えて、グローバル景気の後退によるリスクオフを警戒しているため、当期末においては、日本円を110%程度まで引き上げ、円高に備えています。

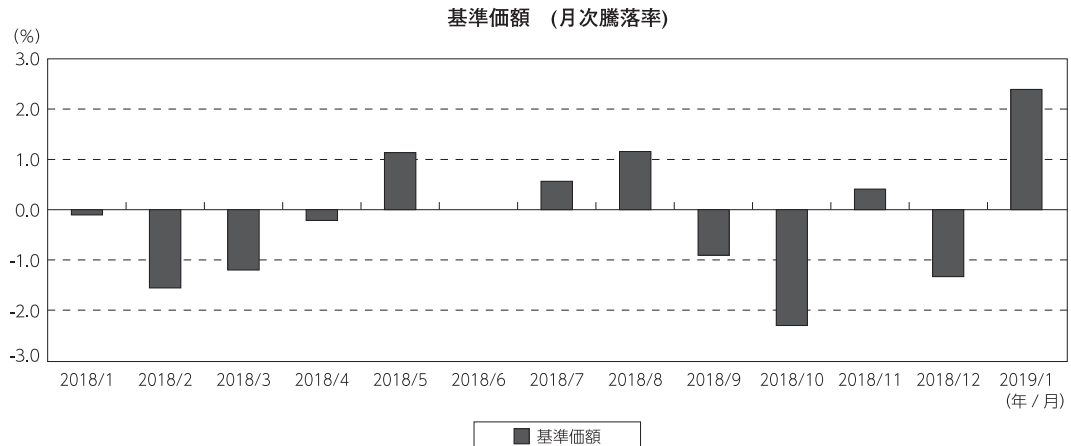
外貨の中の通貨選択に関しては、7月23日から12月まで米国の引き締め的な金融政策を背景とする米ドル上昇を想定して、これを買いつつ戦略を取りました。一方、EU離脱交渉の難航が経済にとって重石となると考えた英ポンドは売り持ちとしました。

【オルタナティブ】

金利上昇を想定していた前期末は、これを悪材料としやすいリートの投資を控えていたものの、その投資比率を徐々に増やして当期末時点では5.1%組み入れています。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、絶対収益を目標としているため、ベンチマーク等はありません。グラフは、期中の当ファンドの月次基準価額騰落率です。



(注) 2018年1月は期首から当月末まで、2019年1月は月初から期末までの期間で計算。

◎今後の運用方針

●投資環境見通し

市場関係者の耳目を集めやすい米国景気こそ未だ好調を保っているものの、世界景気全体となるとやや様相が異なります。たとえばOECD（経済協力開発機構）が算出する景気先行指数は2017年末をピークに減速に転じた後、2018年中盤以降は長期平均水準である100を下回った状態です。あたかも世界景気に関する慎重論の台頭を防ぐ役目を果たしている格好の米国景気についても、米トランプ政権による減税等の財政政策が景気拡大長期化に作用しているに過ぎないという可能性も完全に否定はできないでしょう。事実、米国でさえも販売価格の高止まりと住宅ローン金利の上昇を受けて、住宅市場が減速していることに加え、労働市場においても、新規失業保険申請件数が歴史的な低水準からわずかとはいえ増加する一方で、自発的離職率の伸びが鈍化し始めるなど、減速の兆候が景気指標に現れ始めました。関税引き上げに伴う企業活動への影響の不透明感があるとは言え、マークイットPMIの低下など、企業の景況感の軟化も観察され始めました。

これに対して市場も、足元の世界的な株価調整や金利反落に見られるとおり、静かに進む世界景気減速を相応に織り込んでみるとみられます。しかしそれは、景気がいわゆる巡航速度に均衡していくという絵に描いたようなシナリオを前提としているため、やや楽観的過ぎると判断しています。したがって、今後実際に景気指標のさらなる悪化を目の当たりにした市場がもう一段調整する可能性に配慮が必要であると考えています。

上述したような景気減速過程では、通常中央銀行は金融引き締めの手綱を緩め始め、債券・株式市場ともにそれまでの金利上昇警戒から解き放たれ、金融引き締め政策の停止・緩和転換へと市場の関心が移っていく局面といえます。今回についても、金融危機以降の超緩和的金融政策からの脱却という積年の目標を達成すべく歩を進め続けてきた主要中央銀行でさえ、世界的な景気減速を目の当たりにすることで、金融政策正常化の一時停止や緩和転換へとかじを切るが必然性は高まってきていると考えます。こうした金融引き締めの終わりは、年限を問わず金利低下によって先進国債価格の上昇を後押しするだけでなく、株式市場にとっても少なくとも一時的には、金利敏感業種を中心に支援材料となることが期待されます。また、これまで米国金利上昇と米ドル高による資金流出に苦しんでいた新興国市場が金利低下によって上昇しやすい環境となると想定します。

したがって、鍵を握るのは米国を筆頭とする中央銀行のかじ取りとみられ、金利正常化への執着や景気減速の過小認識があった場合には、株価の追加的下落やいくつかの国における長短金利差逆転を招くものと考えます。これは、米中貿易摩擦の激化や欧州政治混迷の深刻化という予見不能なリスクとともに、世界景気減速を軽微で済ませなくする最大のリスク要因であると考えています。

●株式

世界的な景気減速が明らかになると見られるものの、株式市場は相応にこれを織り込んできたと考えられるため、30%程度の低位に保ってきた投資比率を今後増やす方針です。ただし、これには金融当局の金融引き締めに対する執着が解かれることを確認する必要があることや、景気自体のボトムアウトを展望できることが前提であると考えられるため、急がず慎重に行なう想定です。投資比率引き上げに際しては、金利低下の恩恵を受けやすいと考えられる業種や米ドルの下落の恩恵を受けやすい新興国を念頭に置いています。

●債券

「●投資環境見通し」において記述した通り、経済指標の悪化やインフレ動向を背景に米国の利上げ早期終了やユーロ圏での利上げの棚上げを織り込むような世界的金利低下を想定しているため、外国債券を中心に長めのデュレーションを維持する方針です。年限構成に関しては、金融政策との感応度が高い短中期債を中心にポートフォリオを構築します。一方で、低調な景気という逆風を受けるとみられる事業債への投資や、期待インフレ率上昇を見込みがたい物価連動債への投資は抑制する方針です。

また、金融機関の収益悪化などから、金融緩和の出口戦略に進む可能性がある日本の国債に関しては、当期末同様投資を抑制する方針です。

●為替

他国との金利差や景況差を強みに上昇してきた米ドルが、下落に転じることを想定しています。米国を除いた先進国の景気や金利が通貨高を正当化するとは考えにくいものの、購買力平価で測った場合の米ドルの割高さや、好況時であれば改善していることが通例であった財政収支が今局面では悪化していること等、現在の米ドルはひとたび下落に転じるとそれが加速しやすいリスクを抱えているという認識です。リスクオフが進む局面においては、日本円やスイスフラン等のリスク回避通貨を買い持つ方針です。また、景気自体のボトムアウトが見込まれた場合には、これらのリスク回避通貨から、米ドル下落で恩恵を受ける新興国通貨を買い持つ方針です。

●オルタナティブ

国際商品価格は、低調な世界景気というマイナス材料と、為替市場における米ドルの下落というプラス材料にはさまれ、こう着状態になると考えるため、景気の底打ちを見通せるまでは控えめな投資を心がけます。

一方、リートに関しては、債券価格との関連が深く一種の金利敏感株式ととらえられるため、期末時点の投資比率を維持する方針です。

引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年1月23日～2019年1月21日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|---|--------------------------|----------------------------------|--|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券) (先 物 ・ オ プ シ ョ ン) | 円 9 (3) (6) | % 0.073 (0.026) (0.048) | (a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券) | 0 (0) | 0.001 (0.001) | (b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他) | 4 (2) (1) | 0.030 (0.020) (0.009) | (c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用 |
| 合 計 | 13 | 0.104 | |
| 期中の平均基準価額は、12,192円です。 | | | |

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年1月23日～2019年1月21日)

公社債

| | | | 買付額 | 売付額 |
|--------|-------|------|---------------------|-----------------------|
| 国内 | 国債証券 | | 千円 2,662,140 | 千円 2,435,916 |
| | 外 | アメリカ | 国債証券 | 千米ドル 12,402 |
| カナダ | | 国債証券 | 千カナダドル 4,123 | 千カナダドル 3,915 |
| イギリス | | 国債証券 | 千英ポンド 6,302 | 千英ポンド 7,435 |
| スウェーデン | | 国債証券 | 千スウェーデンクローナ 979 | 千スウェーデンクローナ 11,014 |
| 国 | ノルウェー | 国債証券 | 千ノルウェークローネ 9,957 | 千ノルウェークローネ 4,967 |
| | ユーロ | | 千ユーロ | 千ユーロ |
| | イタリア | 国債証券 | 3,467 | 5,023 |
| | フランス | 国債証券 | 4,315 | 3,910 |
| | スペイン | 国債証券 | 6,703 | 6,546 |

*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

*単位未満は切り捨て。

投資信託証券

| 銘柄 | | 買付 | | 売付 | |
|-------------------------------------|--|---------|---------|--------|-------|
| | | 口数 | 金額 | 口数 | 金額 |
| 国内 | NEXTFUNDS東証REIT指数連動型上場投信 | 5,000 | 9,388 | 2,200 | 3,942 |
| 外国 | アメリカ | | 千米ドル | | 千米ドル |
| | ALERIAN MLP ETF | 12,200 | 128 | 20,000 | 195 |
| | ISHARES GOLD TRUST | — | — | 39,000 | 465 |
| | ISHARES MSCI EMERGING MARKET ASIA | 2,000 | 149 | 1,900 | 131 |
| | ISHARES MSCI TURKEY ETF | — | — | 7,000 | 226 |
| | ISHARES LATIN AMERICA 40 ETF | — | — | 1,800 | 54 |
| | ISHARES US REAL ESTATE ETF | 16,400 | 1,290 | 800 | 65 |
| | ISHARES JP MORGAN USD EM BOND ETF | 1,500 | 158 | 4,300 | 495 |
| | ISHARES BROAD USD INVESTMENT ETF | — | — | 1,400 | 153 |
| | | (100) | (—) | | |
| | ISHARES S&P GSCI COMMODITY I | 41,700 | 701 | 48,700 | 815 |
| | POWERSHARES DB AGRICULTURE F | — | — | 4,200 | 80 |
| | SPDR DJ GLOBAL REAL ESTATE E | 19,900 | 915 | 2,300 | 103 |
| | UNITED STATES OIL FUND LP | 17,400 | 245 | 17,500 | 253 |
| | VANECK VECTORS RUSSIA ETF | 20,000 | 439 | 21,000 | 445 |
| | VANECK VECTORS J.P. MORGAN EM LOCAL CURR | — | — | 57,800 | 1,111 |
| | | (△ 100) | (△ 1) | | |
| | VANECK VECTORS J.P. MORGAN EM LOCAL CURR | 3,500 | 118 | — | — |
| | | (50) | (1) | | |
| | VANGUARD CONSUMER DISCRETIONARY ETF | 4,600 | 774 | 8,700 | 1,418 |
| VANGUARD CONSUMER STAPLE ETF | 1,900 | 244 | 1,800 | 250 | |
| VANGUARD ENERGY ETF | 6,100 | 596 | 6,100 | 558 | |
| VANGUARD FINANCIALS ETF | 8,700 | 622 | 21,600 | 1,427 | |
| VANGUARD HEALTH CARE ETF | 7,000 | 1,135 | 5,400 | 855 | |
| VANGUARD INDUSTRIALS ETF | 1,500 | 213 | 2,900 | 413 | |
| VANGUARD INFORMATION TECHNOLOGY ETF | 5,300 | 950 | 5,200 | 947 | |
| VANGUARD MATERIALS ETF | 3,100 | 409 | 3,100 | 354 | |
| VANGUARD UTILITIES ETF | 17,500 | 2,024 | 2,900 | 341 | |
| VANGUARD COMMUNICATION SERVICE ETF | 5,400 | 420 | 2,200 | 201 | |
| 小計 | 195,700 | 11,537 | 287,600 | 11,368 | |
| | (50) | (—) | | | |

*金額は受け渡し代金。

*金額の単位未満は切り捨て。

* () 内は分割、合併、有償増資などによる増減分で、上段の数字には含まれておりません。

*銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

先物取引の種類別取引状況

| 種 類 別 | | 買 建 | | 売 建 | |
|--------|--------|------------|------------|----------|----------|
| | | 新規買付額 | 決 済 額 | 新規売付額 | 決 済 額 |
| 国 内 | 株式先物取引 | 百万円 381 | 百万円 466 | 百万円 — | 百万円 — |
| | 債券先物取引 | — | — | 2,119 | 1,356 |
| 外 国 | 株式先物取引 | 7,304 | 6,837 | 1,309 | 1,246 |
| | 債券先物取引 | 11,354 | 9,523 | 10,624 | 10,814 |

*単位未満は切り捨て。

*外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2018年1月23日～2019年1月21日)

利害関係人との取引状況

| 区 分 | 買付額等 A | うち利害関係人 との取引状況B | | $\frac{B}{A}$ | 売付額等 C | うち利害関係人 との取引状況D | | $\frac{D}{C}$ |
|--------|--------------|--------------------|-----|---------------|--------------|--------------------|----------|---------------|
| | | 百万円 | 百万円 | | | 百万円 | 百万円 | |
| 投資信託証券 | 百万円 1,275 | 百万円 — | — | % — | 百万円 1,250 | 百万円 3 | % 0.2 | |
| 株式先物取引 | 8,932 | 381 | 4.3 | 8,613 | 466 | 5.4 | | |
| 債券先物取引 | 23,525 | 1,356 | 5.8 | 22,267 | 2,119 | 9.5 | | |
| 為替先物取引 | 15,733 | 338 | 2.1 | 16,164 | 127 | 0.8 | | |
| 為替直物取引 | 4,835 | 193 | 4.0 | 4,823 | 327 | 6.8 | | |

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

| 項 目 | 当 期 |
|------------------|---------|
| 売買委託手数料総額 (A) | 3,089千円 |
| うち利害関係人への支払額 (B) | 52千円 |
| (B) / (A) | 1.7% |

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村証券株式会社、野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2019年1月21日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

| 区 分 | 当 期 | | | 末 | | | |
|------|---------|---------|---------|--------------------|-----------|------|------|
| | 額 面 金 額 | 評 価 額 | 組 入 比 率 | うちBB格以下 組 入 比 率 | 残存期間別組入比率 | | |
| | | | | | 5年以上 | 2年以上 | 2年未満 |
| | 千円 | 千円 | % | % | % | % | % |
| 国債証券 | 770,000 | 772,772 | 16.5 | — | — | — | 16.5 |
| 合 計 | 770,000 | 772,772 | 16.5 | — | — | — | 16.5 |

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

*金額の単位未満は切り捨て。

*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

| 銘 柄 | 当 期 | | | 末 | |
|--------------------------|-----|---------|---------|-----------|--|
| | 利 率 | 額 面 金 額 | 評 価 額 | 償 還 年 月 日 | |
| | % | 千円 | 千円 | | |
| 国債証券 国庫債券 利付(2年)第388回 | 0.1 | 770,000 | 772,772 | 2020/5/15 | |
| 合 計 | | 770,000 | 772,772 | | |

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

| 区 分 | 当 期 | | 末 | | | | | |
|-------|---------------------|---------------------|-----------|------|-----------------|-----------|------|-----|
| | 額面金額 | 評 価 額 | | 組入比率 | うちBB格以下 組入比率 | 残存期間別組入比率 | | |
| 外貨建金額 | | 邦貨換算金額 | 5年以上 | | | 2年以上 | 2年未満 | |
| | 千米ドル | 千米ドル | 千円 | % | % | % | % | % |
| アメリカ | 5,500 | 5,601 | 614,360 | 13.1 | — | 4.0 | 9.1 | — |
| カナダ | 千カナダドル 1,200 | 千カナダドル 1,196 | 98,943 | 2.1 | — | — | — | 2.1 |
| イギリス | 千英ポンド 1,600 | 千英ポンド 1,773 | 250,025 | 5.3 | — | 5.3 | — | — |
| ノルウェー | 千ノルウェークローネ 5,000 | 千ノルウェークローネ 5,012 | 64,204 | 1.4 | — | 1.4 | — | — |
| ユーロ | 千ユーロ | 千ユーロ | | | | | | |
| フランス | 2,600 | 2,620 | 326,859 | 7.0 | — | 7.0 | — | — |
| スペイン | 3,300 | 3,426 | 427,471 | 9.1 | — | 5.9 | 3.2 | — |
| 合 計 | — | — | 1,781,863 | 38.0 | — | 23.5 | 12.3 | 2.1 |

*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

*金額の単位未満は切り捨て。

*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

| 銘 | 柄 | 当 期 末 | | | | 償還年月日 | | |
|-------|------|----------------------|--------------------------|-------|-----------|---------|-----------|-----------|
| | | 利 率 | 額面金額 | 評 価 額 | | | | |
| | | | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | | | |
| アメリカ | 国債証券 | TSY INFL IX N/B I/L | 0.125 | 2,600 | 2,707 | 296,911 | 2021/4/15 | |
| | | TSY INFL IX N/B I/L | 0.625 | 1,200 | 1,203 | 131,988 | 2023/4/15 | |
| | | TSY INFL IX N/B I/L | 0.375 | 1,500 | 1,496 | 164,162 | 2027/1/15 | |
| | | TSY INFL IX N/BI/L | 1.0 | 200 | 194 | 21,298 | 2048/2/15 | |
| | | 小 計 | | | | | 614,360 | |
| カナダ | 国債証券 | CANADIAN GOVERNMENT | 1.75 | 1,200 | 1,196 | 98,943 | 2020/8/1 | |
| | | 小 計 | | | | 98,943 | | |
| イギリス | 国債証券 | UK TREASURY | 4.75 | 500 | 679 | 95,809 | 2030/12/7 | |
| | | UK TREASURY | 1.75 | 1,100 | 1,093 | 154,215 | 2037/9/7 | |
| | | 小 計 | | | | 250,025 | | |
| ノルウェー | 国債証券 | NORWEGIAN GOVERNMENT | 1.75 | 5,000 | 5,012 | 64,204 | 2027/2/17 | |
| | | 小 計 | | | | 64,204 | | |
| ユーロ | フランス | FRANCE (GOVT OF) | — | 1,000 | 1,000 | 124,827 | 2024/3/25 | |
| | | FRANCE (GOVT OF) | 1.25 | 800 | 817 | 101,930 | 2034/5/25 | |
| | | FRANCE (GOVT OF) | 1.25 | 800 | 802 | 100,101 | 2036/5/25 | |
| | スペイン | 国債証券 | BONOS Y OBLIG DEL ESTADO | 0.35 | 1,200 | 1,204 | 150,193 | 2023/7/30 |
| | | | BONOS Y OBLIG DEL ESTADO | 2.35 | 2,100 | 2,222 | 277,278 | 2033/7/30 |
| | 小 計 | | | | | 754,330 | | |
| 合 計 | | | | | 1,781,863 | | | |

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

国内投資信託証券

| 銘 | 柄 | 期首(前期末) | 当 期 末 | | |
|--------------------------|---|--------------|---------|----------|-------|
| | | 口 数 | 口 数 | 評 価 額 | 比 率 |
| NEXTFUNDS東証REIT指数連動型上場投信 | | 口 2,300 | 口 5,100 | 千円 9,899 | % 0.2 |
| 合 計 | | 口 数・金額 2,300 | 5,100 | 9,899 | |
| | | 銘柄数<比率> 1 | 1 | <0.2%> | |

* 評価額の単位未満は切り捨て。

* 比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

外国投資信託証券

| 銘柄 | 期首(前期末) | | 当 期 末 | | | |
|--|--------------|---------|--------|---------|-----------|--|
| | 口 数 | 口 数 | 評 価 額 | | 比 率 | |
| | | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | | |
| (アメリカ) | 口 | 口 | 千米ドル | 千円 | % | |
| ALERTIAN MLP ETF | 20,000 | 12,200 | 120 | 13,192 | 0.3 | |
| ISHARES GOLD TRUST | 39,100 | 100 | 1 | 134 | 0.0 | |
| ISHARES MSCI EMERGING MARKET ASIA | — | 100 | 6 | 695 | 0.0 | |
| ISHARES MSCI TURKEY ETF | 7,100 | 100 | 2 | 295 | 0.0 | |
| ISHARES LATIN AMERICA 40 ETF | 1,900 | 100 | 3 | 379 | 0.0 | |
| ISHARES US REAL ESTATE ETF | 500 | 16,100 | 1,282 | 140,654 | 3.0 | |
| ISHARES JP MORGAN USD EM BOND ETF | 4,400 | 1,600 | 170 | 18,726 | 0.4 | |
| ISHARES MBS ETF | 100 | 100 | 10 | 1,147 | 0.0 | |
| ISHARES BROAD USD INVESTMENT ETF | 1,500 | 200 | 10 | 1,170 | 0.0 | |
| ISHARES S&P GSCI COMMODITY I | 7,000 | — | — | — | — | |
| POWERSHARES DB AGRICULTURE F | 4,200 | — | — | — | — | |
| SPDR DJ GLOBAL REAL ESTATE E | 100 | 17,700 | 829 | 90,982 | 1.9 | |
| UNITED STATES OIL FUND LP | 100 | — | — | — | — | |
| VANECK VECTORS RUSSIA ETF | 2,000 | 1,000 | 20 | 2,249 | 0.0 | |
| VANECK VECTORS J.P. MORGAN EM LOCAL CURR | 57,900 | — | — | — | — | |
| VANECK VECTORS J.P. MORGAN EM LOCAL CURR | — | 3,550 | 119 | 13,151 | 0.3 | |
| VANGUARD CONSUMER DISCRETIONARY ETF | 5,200 | 1,100 | 179 | 19,696 | 0.4 | |
| VANGUARD CONSUMER STAPLE ETF | — | 100 | 13 | 1,492 | 0.0 | |
| VANGUARD ENERGY ETF | 100 | 100 | 8 | 948 | 0.0 | |
| VANGUARD FINANCIALS ETF | 13,000 | 100 | 6 | 713 | 0.0 | |
| VANGUARD HEALTH CARE ETF | 1,500 | 3,100 | 523 | 57,408 | 1.2 | |
| VANGUARD INDUSTRIALS ETF | 1,500 | 100 | 13 | 1,441 | 0.0 | |
| VANGUARD INFORMATION TECHNOLOGY ETF | 1,700 | 1,800 | 318 | 34,891 | 0.7 | |
| VANGUARD MATERIALS ETF | 100 | 100 | 11 | 1,298 | 0.0 | |
| VANGUARD UTILITIES ETF | — | 14,600 | 1,734 | 190,268 | 4.1 | |
| VANGUARD COMMUNICATION SERVICE ETF | 2,300 | 5,500 | 442 | 48,496 | 1.0 | |
| 小 計 | 口 数 ・ 金 額 | 171,300 | 79,450 | 5,830 | 639,435 | |
| | 銘柄 数 < 比 率 > | 22 | 22 | — | < 13.6% > | |
| (ユーロ…アイルランド) | | | | 千ユーロ | | |
| ISHARES EUR CORP BOND LARGE CAP UCITS ET | 100 | 100 | 13 | 1,661 | 0.0 | |
| ユ ー ロ 計 | 口 数 ・ 金 額 | 100 | 100 | 13 | 1,661 | |
| | 銘柄 数 < 比 率 > | 1 | 1 | — | < 0.0% > | |
| 合 計 | 口 数 ・ 金 額 | 171,400 | 79,550 | — | 641,097 | |
| | 銘柄 数 < 比 率 > | 23 | 23 | — | < 13.7% > | |

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

先物取引の銘柄別期末残高

| 銘柄別 | | | 当期 | |
|----------|--------|----------------|----------|------------|
| | | | 買建額 | 売建額 |
| 国内 | 債券先物取引 | 10年国債標準物 | 百万円 — | 百万円 762 |
| 外 | 株式先物取引 | AEX | 12 | — |
| | | CAC40 | 12 | — |
| | | CAN60 | 105 | — |
| | | DAX30 | 209 | — |
| | | DJIAVMN | 135 | — |
| | | EURO50 | 42 | — |
| | | FT100 | — | 29 |
| | | FTSE/MIB | 24 | — |
| | | HANGSENG | 132 | — |
| | | IBEX | 90 | — |
| | | MSCIN | 39 | — |
| | | MSCIS | — | 23 |
| | | MSCIT | 39 | — |
| | | NASDAQMN | 89 | — |
| | | SPI200 | 11 | — |
| | | SPEMINI | 336 | — |
| SWISSMKT | 29 | — | | |
| CBOEVIX | — | 8 | | |
| WIG20 | — | 9 | | |
| 国 | 債券先物取引 | TNOTE (5YEAR) | 387 | — |
| | | AU03YR | 88 | — |
| | | BOBL | — | 628 |
| | | BTP | 207 | — |
| | | BUNDS | 81 | — |
| | | BUXL | 316 | — |
| | | CANADA | 101 | — |
| | | OAT10Y | 113 | — |
| | | SCHATZ | — | 781 |
| | | TBOND | 317 | — |
| | | TNOTE (10YEAR) | 491 | — |
| T-ULTRA | 278 | — | | |

* 単位未満は切り捨て。

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2019年1月21日現在)

| 項 目 | 当 期 末 | |
|--------------|-----------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| | 千円 | % |
| 公社債 | 2,554,635 | 53.5 |
| 投資信託受益証券 | 650,996 | 13.6 |
| コール・ローン等、その他 | 1,570,346 | 32.9 |
| 投資信託財産総額 | 4,775,977 | 100.0 |

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建て純資産(2,720,722千円)の投資信託財産総額(4,775,977千円)に対する比率は57.0%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=109.67円、1カナダドル=82.68円、1英ポンド=141.00円、1スイスフラン=110.19円、1スウェーデンクローナ=12.16円、1ノルウェークローネ=12.81円、1ユーロ=124.74円、1ズロチ=29.08円、1香港ドル=13.98円、1シンガポールドル=80.73円、1豪ドル=78.57円、1メキシコペソ=5.74円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年1月21日現在)

| 項 目 | 当 期 末 |
|-----------------|----------------|
| | 円 |
| (A) 資産 | 8,149,085,339 |
| コール・ローン等 | 1,212,691,899 |
| 公社債(評価額) | 2,554,635,827 |
| 投資信託受益証券(評価額) | 650,996,318 |
| 未収入金 | 3,537,952,801 |
| 未収利息 | 4,428,206 |
| 前払費用 | 4,170,498 |
| 差入委託証拠金 | 184,209,790 |
| (B) 負債 | 3,455,675,652 |
| 未払金 | 3,455,673,415 |
| 未払利息 | 2,237 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 4,693,409,687 |
| 元本 | 3,847,731,195 |
| 次期繰越損益金 | 845,678,492 |
| (D) 受益権総口数 | 3,847,731,195口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 12,198円 |

(注) 期首元本額は3,081,177,173円、期中追加設定元本額は1,071,635,788円、期中一部解約元本額は305,081,766円、1口当たり純資産額は1,2198円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額・世界分散投資戦略ファンド 3,847,731,195円

○損益の状況 (2018年1月23日~2019年1月21日)

| 項 目 | 当 期 |
|--------------------|--------------|
| | 円 |
| (A) 配当等収益 | 38,543,708 |
| 受取配当金 | 14,158,339 |
| 受取利息 | 24,415,908 |
| その他収益金 | 530,179 |
| 支払利息 | △ 560,718 |
| (B) 有価証券売買損益 | △ 63,225,130 |
| 売買益 | 380,737,674 |
| 売買損 | △443,962,804 |
| (C) 先物取引等取引損益 | △ 56,439,999 |
| 取引益 | 286,132,308 |
| 取引損 | △342,572,307 |
| (D) 保管費用等 | △ 1,261,972 |
| (E) 当期損益金(A+B+C+D) | △ 82,383,393 |
| (F) 前期繰越損益金 | 756,215,907 |
| (G) 追加信託差損益金 | 238,764,212 |
| (H) 解約差損益金 | △ 66,918,234 |
| (I) 計(E+F+G+H) | 845,678,492 |
| 次期繰越損益金(I) | 845,678,492 |

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。

<お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようよろしくお願いいたします。

(2019年7月22日現在)

| 年 月 | 日 |
|---------|-------|
| 2019年7月 | — |
| 8月 | 26 |
| 9月 | 2 |
| 10月 | — |
| 11月 | 11、28 |
| 12月 | 25、26 |

※2019年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご注意ください。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。